災害リスク管理に配慮したアセットマネジメントシステムを活用した下水道資産管理

継続

Management of Sewerage Asset Utilizing Asset Management System with Consideration to Disaster Risk Management

対象国の条件 : 災害リスクを考慮したインフラ等の適切な管理が必要な国

研修コース番号 : J1804032	**案件番号 :** 1884832
主分野課題 : 環境管理/その他環境管理	
副分野課題 : 水資源・防災/その他水資源・防災	
使用言語 : 西語	

案件概要

すでに下水道インフラがある程度整備されている中南米の国々における下水道資産のより適切な管理に向け、本研修への参加を通して、災害リスク管理を考慮したアセットマネジメントにかかる知識・技術を習得する。

目標／成果

【案件目標】
自国の状況に適した下水道防災対策や事業運営に関する立案・実施するための知識・技術を習得し、それらが自国において共有される。

【成果】
１．日本における下水道防災やアセットマネジメントに関する取り組みについて理解し、自国の現状と比較して説明できる。

２．水環境保全及び生活環境保全における下水道の意義や重要性を理解し、自国で有効な対策案を説明できる。

３．研修で取得した知識を踏まえ、自国の下水道事業の改善に向けたアクションプランを作成する。

対象組織／人材

【対象組織】
下水道施設の計画、管理、事業運営を所掌する中央または地方政府・自治体・公的組織

【対象人材】
＜職位＞中央または地方政府・自治体・公的組織で、下水道事業を担当する上級技術者＜職務経験＞

5年以上の実務経験を有する者

内　容

【事前活動】
自国及び所属先の下水道防災や事業運営上の現状や課題を明確にし、カントリーレポートにまとめる。

【本邦活動】
１．基礎的知識の習得（下水道総論、日本・仙台市の下水道）
２．下水道施設の地震・津波対策
３．下水道施設の維持管理（管路施設、処理施設、下水道台帳）
４．水質規制と事業所排水
５．アセットマネジメントワークショップ
６．被災地復興の現場視察
７．アクションプランの作成

【事後活動】
研修終了帰国後、研修員所属先で普及活動を行い、3ヶ月以内にJICAに最終レポートを提出する。

本邦研修期間	2018/11/7～2018/12/3
担当課題部	地球環境部
所管国内機関	JICA東北
関係省庁	
実施年度	2016～2018

主要協力機関	公益社団法人　青年海外協力協会
特記事項及びホームページ	